

中札内より元気いっぱい!

北海道中札内高等養護学校 校長室より

第14号

令和4年8月22日(月)

休みが明けたときは、じっくり環境になじんできていこう

新学期や長い休み明けは、身体が日常の状態に戻るのに苦勞するのは大人も同じ。久しぶりの学校に来る生徒たちも、外見では分からないまでも、なんとなくだるい、気持ちがのらない等の状態を感じていることもあるのでは?と思います。いつもうまくいっていたことも、時間がかかったり、失敗したりすることもあるでしょう。そんなときは、「まだ準備期間」「少しずつ加速していく」とゆっくり見守っていくことも必要だと思っています。今現在の“不調”と一緒にその状態を解明するやりとりをしながら、人の体調や気持ちの変化を学ぶ機会にもしていきたいと思っています。



朝の会みんなでやろう!

ある朝、ある教室にいくと、休んでいる生徒をオンラインでつなぎ、一緒に朝の会をしていました。画面の向こうでは友達の様子が見える教室とつながり、とてもうれしそうです。学びを止めない工夫、各教室でがんばっています。



画面の向こうで学ぶ生徒も一緒に



普通科の畑も大きく育ちました

「校長先生、これ獲れたんです」と普通科1年生が校長室にズッキーニとシントウとナンバンを持ってきてくれました。入学してから大事に世話をしてきた野菜が休みが終わって畑に行ってみると大きくなっていて、大喜びの生徒たちでした。夏の暑さはこうやって野菜を大きく成長させるのですね。



この夏賑わっていた中札内村

今年の夏、中札内村には全国各地から観光などで訪れた人が多かったようです。中札内村と交流のある南砺市から小学生も1泊2日の交流事業が行われたとのこと。札内川などでの楽しい活動があったようでした。

また、コロナの影響で盆踊りなどは中止になったものの、上札内地区と中札内中央公園では2週にわたって花火大会が行われました。



豪華な花火大会

中札内村にある“フェリーエンドルフ”の温泉施設が開業したこともあり、お風呂に入るためにいらっしゃる十勝管内の方もたくさんいたようでした。道の駅には、たくさんのキャンピングカーが泊まっており、この夏中札内村の自然を楽しんだ方々がたくさんいたことが分かります。

これから夏から秋にかけての季節も、自然、芸術、目が離せません。これから楽しみです。